

# 結核を減らすために



## 下関市の結核の現状



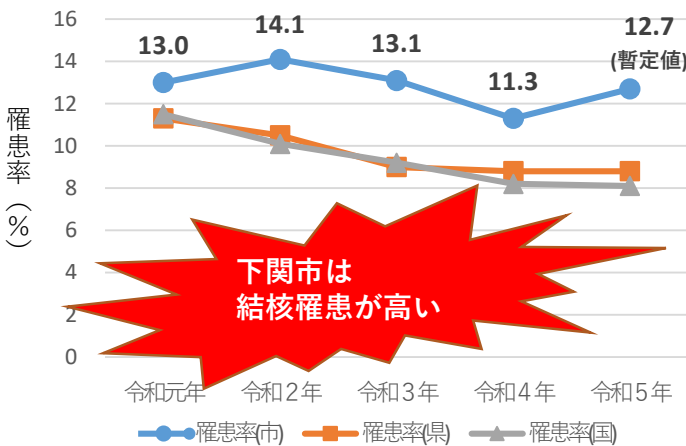
### ～結核は過去の病ではありません！～

山口県内では年間100人以上、下関市内では年間約40人前後の新規の結核患者が発生しています。下関市における結核罹患率\*1および、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率\*2は全国や山口県と比較すると、高い状況にあります。

(※1 新登録結核患者数 ÷ 人口 × 10万) (※2 喀痰塗抹陽性肺結核患者 ÷ 人口 × 10万)

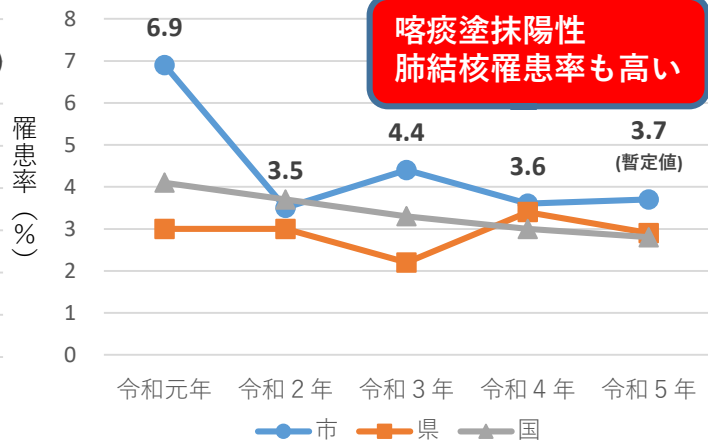
\* 喀痰塗抹陽性とは・・・喀痰の塗抹染色検査で陽性と判定されたもの = 排菌者

結核罹患率の年次推移



下関市は結核罹患が高い

喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の年次推移

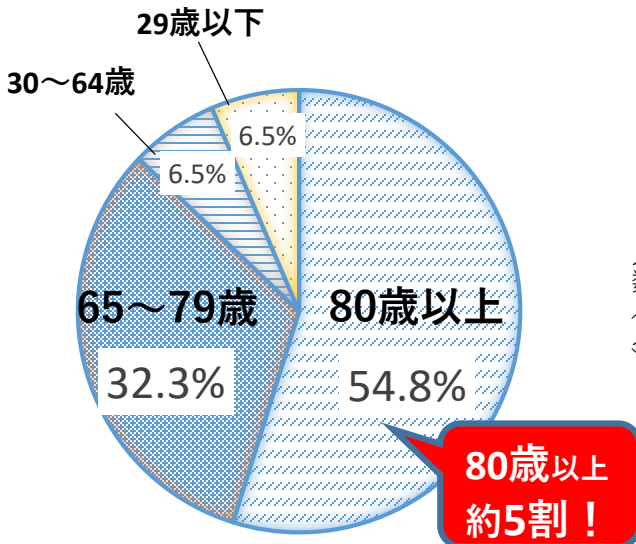


喀痰塗抹陽性肺結核罹患率も高い

### ～80歳以上に多い結核！～



下関市で令和5年に発生した結核患者の年齢構成は、65歳以上が8割を占めています。特に、80歳以上の高齢者が多く、患者の約半数を占めています。



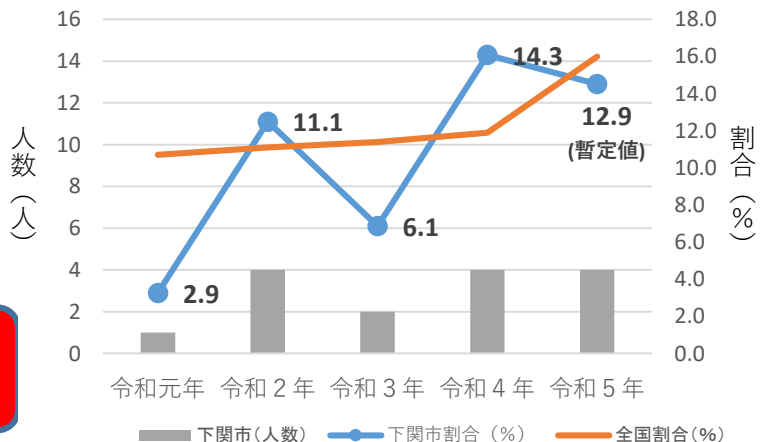
80歳以上約5割！

### ～外国出生者の結核～



新登録結核患者のうち外国出生者の割合は全国的に増加しており、下関市では、1割を超えています。特に、20～30歳代の新登録結核患者のうち外国出生者の割合が高い状況です。罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発症するケースが見受けられます。

新登録結核患者に占める外国出生者の年次推移



# 施設の皆様へお願いしたいこと



## ～結核は早期発見が大切！！～

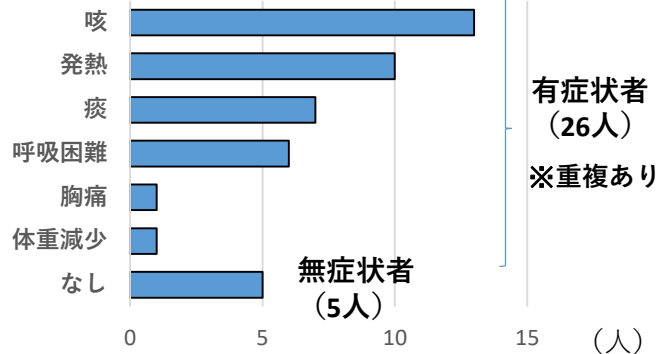
結核は、発見が遅れることで、感染拡大につながる場合があります。  
早い段階（排菌前）で結核の発病が発見出来れば、人への感染を防ぐことができます

### ①有症状時の受診の徹底をお願い致します。

結核を発病すると、咳や痰、発熱など風邪によく似た症状が出ると言われていますが、下関市においても同様の傾向です。

特に、高齢者は症状がはっきり現れない場合も多く、発見が遅れることもあります。  
日頃から利用者の健康観察を注意深く行っていただき、体重減少や倦怠感等が出現した場合には、受診の勧め、又は同行をお願い致します。

診断時の症状（令和5年） N=31



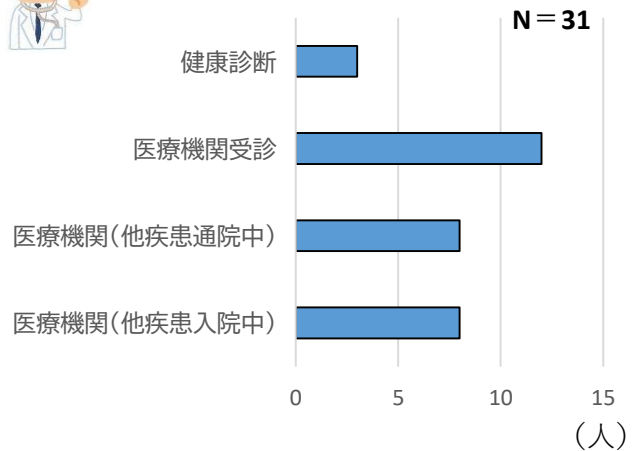
### ②健康診断（胸部X線検査）の受診をお願い致します。

下関市における令和5年の患者発見状況は、健康診断（胸部X線検査）が全体の約1割を占めており、健康診断（胸部X線検査）も結核患者の発見には大切です。

感染症法により、65歳以上の方や、結核を発病した場合感染を蔓延させる恐れが高い集団・職種を対象に、年に1回結核定期健康診断を受けることが義務付けられています。  
施設内の結核の集団感染を防ぐためにも、結核定期健康診断が義務付けられている対象者については、必ず健康診断（胸部X線検査）の受診をお願い致します。



患者発見方法（令和5年）



### ③精密検査の速やかな受診をお願い致します。

健康診断は、病気の早期発見を目的としているため、少しでも疑わしい部分があれば精密検査の対象となります。

下関市における令和5年の結核定期健康診断対象機関において、精密検査を受診されている方が多数ですが、中には受診されていない方もいます。精密検査を受診しない、又は受診の遅れにより結核の発見が遅れることで、集団感染に繋がる可能性があります。

精密検査対象者には、速やかな受診の勧め、又は同行をお願い致します。

定期健康診断対象機関における精密検査対象者数（令和5年度）

